

国内四半期自転車生産・輸出入状況 (2019年10～12月)

はじめに

本稿は、我が国の自転車生産・輸出入の変化の模様を的確に把握するため、四半期毎の動きに焦点を当て、特に対前年同期との比較を主体として調査を行ったものである。但し、前年同期との比較を主体とするとはいうものの、自転車販売には季節性があり、その生産・輸出入も通常1～3月期に最も数量が多く、7～9月期に数量が最も少なくなる年が多いという事を踏まえておく必要がある。四半期毎の変化を追跡する場合、この特性を考慮する必要もある。

2019年10～12月期の生産状況は、総生産台数・総生産金額は前年同期を上回り総生産平均単価は下落した。また2019年10～12期の輸入状況については、総輸入台数・総輸入平均単価・総輸入金額とも前年同期を下回った。

1. 我が国の自転車生産

1-1 総合的生産状況

経済産業省生産動態統計調査によると、2019年10～12月期の我が国の完成自転車総生産台数は253,909台であり、前年同期と比較すると12.1%増加した。四半期毎総生産台数は対前年同期比でみると前四半期から増加に転じ、今回は更に増加傾向が強まった。2019年10～12月期の253,909台という数値は2019年1～3月期や2018年1～3月期に匹敵する数値であり注目される。これらの模様を、過去4四半期にまでさかのぼり表1-1-1及び表1-1-2に示す。

表1-1-1 我が国自転車総生産台数の動向

四半期	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月
総生産台数(台)	256,264	195,967	178,950	253,909
前年同四半期	2018年1～3月	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月
総生産台数(台)	257,826	205,787	171,099	226,543

出典：経済産業省生産動態統計調査（2018年数値は改定値） 加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
以下、生産統計数値は全て同様。

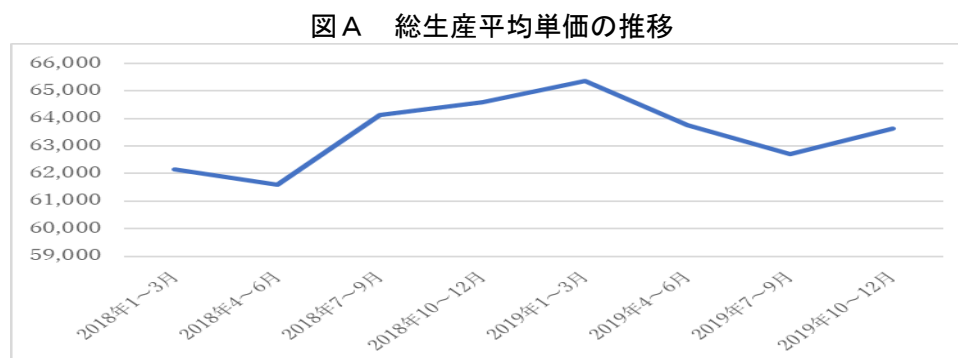
表1-1-2 我が国自転車総生産台数の前年同期比

四半期	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月
実数比(台)	-1,562	-9,820	+7,851	+27,366
前年同期比(%)	-0.6	-4.8	+4.6	+12.1

総生産台数が前四半期に対前年同期比で減少から増加に転じた要因は、消費税増税前の駆け込み需要によるものだったのではないかと前回の報告で指摘した。しかし、前回の報告の際にも引用した当協会が実施している自転車国内販売動向調査によると、2019年10月月報及び2019年11月月報には販売店における消費税増税後の販売減少の様相が示されている

る。生産と販売が一致していないようであるが、今後どのような推移をたどるのか引き続き注視してゆきたい。

続いて総生産平均単価を見る。対象としている2018年1～3月期から2019年10～12月期までの8四半期の総生産平均単価の推移を図Aに示す。



総生産平均単価は2019年1～3月期迄は上昇傾向にあったが、その後2019年7～9月期にかけて下落し、2019年10～12月期は持ち直したことが示されている。

次に総生産平均単価の動向の模様を過去4四半期にまでさかのぼり表1-1-3及び表1-1-4に示す。2019年10～12月期の完成自転車生産平均単価は63,642円となっており、前年同期の64,604円から1.5%下落した。2018年10～12月期の64,604円は比較的高い数値であったこともあるが、前四半期から引き続き若干の下落を示している。後述するが、車種別の生産平均単価を見ると「電動アシスト車」の生産平均単価のみが前年同期比で下落しており、今期の総生産平均単価の前年同期比下落は「電動アシスト車」の下落によりもたらされている。

表1-1-3 我が国自転車総生産平均単価の動向

四半期	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月
平均単価(円)	65,357	63,765	62,721	63,642
前年同四半期	2018年1～3月	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月
平均単価(円)	62,165	61,591	64,116	64,604

表1-1-4 我が国自転車総生産平均単価の前年同期比

四半期	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月
実数比(円)	+3,193	+2,174	-1,395	-962
前年同期比%	+5.1	+3.5	-2.2	-1.5

更に総生産金額について見てみると、2019年10～12月の完成自転車総生産金額は161億5,930万7千円で、前年同期と比較すると10.4%増加した。これらの模様をやはり過去4四半期にまでさかのぼり表1-1-5及び表1-1-6に示す。総生産台数の場合と同様、2019年10～12月期は2019年1～3月期や2018年1～3月期に匹敵する数値となっている。

表 1-1-5 我が国自転車総生産金額の動向

四半期	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月
総生産金額(千円)	16,748,718	12,495,848	11,223,924	16,159,307
前年同四半期	2018年1~3月	2018年4~6月	2018年7~9月	2018年10~12月
総生産金額(千円)	16,027,649	12,674,611	10,970,182	14,635,581

表 1-1-6 我が国自転車総生産金額の前年同期比

四半期	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月
実数比(千円)	+721,069	-178,763	+253,742	+1,523,726
前年同期比%	+4.5	-1.4	+2.3	+10.4

1-2 車種別生産状況

以下に車種別の生産状況を見ていくが、経済産業省生産動態統計調査における自転車の車種区分は、「軽快車」「電動アシスト車」「その他」の三つである。2019年10~12月期は前年同期と比較し、「軽快車」は生産台数が若干減少し、生産平均単価・生産金額は増加・上昇した。「電動アシスト車」は生産台数・生産金額が増加したものの生産平均単価は下落、「その他」は生産台数・生産平均単価・生産金額とも増加・上昇という各々異なった状況を示した。

1-2-1 「軽快車」の生産状況

まず、「軽快車」の生産状況を以下に示す。2019年10~12月期には生産台数が前年同期に対し1.5%減少したことがわかる。「軽快車」の生産は秋から冬にかけて盛んで、春から夏にかけて低調であることがよくわかる。

表 1-2-1-1 「軽快車」の生産台数の動向

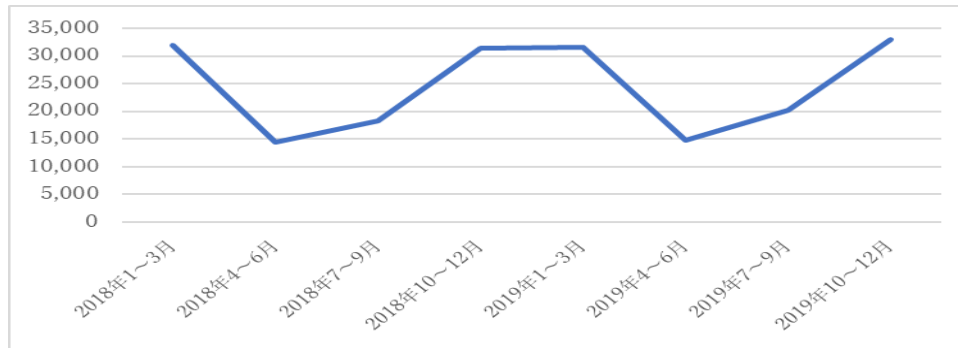
四半期	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月
生産台数(台)	78,625	35,990	37,994	74,943
前年同四半期	2018年1~3月	2018年4~6月	2018年7~9月	2018年10~12月
生産台数(台)	79,023	39,428	35,483	76,115

表 1-2-1-2 「軽快車」の生産台数の前年同期比

四半期	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月
実数比(台)	-398	-3,438	+2,511	-1,172
前年同期比%	-0.5	-8.7	+7.1	-1.5

続いて「軽快車」の生産平均単価を見る。対象としている2018年1~3月期から2019年10~12月期までの8四半期の生産平均単価の推移を図Bに示す。季節性が大変強く表れており、「軽快車」の生産は、秋から冬にかけて比較的高価なものを生産し、春から夏にかけては比較的安価なものを生産するという特徴がよくわかる。

図B 「軽快車」の生産平均単価の推移



次に「軽快車」の生産平均単価の動向の様相を過去4四半期にまでさかのぼり表1-2-1-3及び表1-2-1-4に示す。2019年10～12月期の「軽快車」の生産平均単価は32,967円となっており、前年同期の31,406円から5.0%上昇した事がわかる。尚、2019年10～12月期の32,967円という数値は対象となる8四半期の中で最高である。また後述する「軽快車」の輸入平均単価と比べると、2019年10～12月期の生産平均単価は3.2倍強となっている。この「軽快車」の生産平均単価と輸入平均単価の差異は、2019年7～9月期が2.4倍弱、2019年4～6月期は1.7倍弱、2019年1～3月期は3.2倍弱であり、秋から冬のほうがその差が大きくなっている。

表1-2-1-3 「軽快車」の生産平均単価の動向

四半期	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月
平均単価(円)	31,656	14,729	20,264	32,967
前年同四半期	2018年1～3月	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月
平均単価(円)	31,980	14,505	18,265	31,406

表1-2-1-4 「軽快車」の生産平均単価の前年同期比

四半期	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月
実数比(円)	-324	+223	+2,000	+1,561
前年同期比%	-1.0	+1.5	+10.9	+5.0

更に生産金額について見てみると、2019年10～12月期の「軽快車」の生産金額は24億7,061万3千円で前年同期と比較すると3.4%増加した事が示されている。

表1-2-1-5 「軽快車」の生産金額の動向

四半期	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月
生産金額(千円)	2,488,955	530,085	769,926	2,470,613
前年同四半期	2018年1～3月	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月
生産金額(千円)	2,527,145	571,915	648,092	2,390,458

表1-2-1-6 「軽快車」の生産金額の前年同期比

四半期	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月
実数比(千円)	-38,190	-41,830	+121,834	+80,155
前年同期比%	-1.5	-7.3	+18.8	+3.4

1-2-2 「電動アシスト車」の生産状況

「電動アシスト車」の生産状況を以下に示す。まず生産台数は、2019年10～12月期には対前年同期比19.9%増加したことがわかる。前年同期と比較した生産台数は前四半期から増加に転じ、今回は増加幅がさらに拡大した。2019年10～12月期の生産台数は2018年1

～3月期や2019年1～3月期と同水準であり、2018年10～12月期とは異なる水準である。今後の動向が注目されることである。

表1-2-2-1 「電動アシスト車」の生産台数の動向

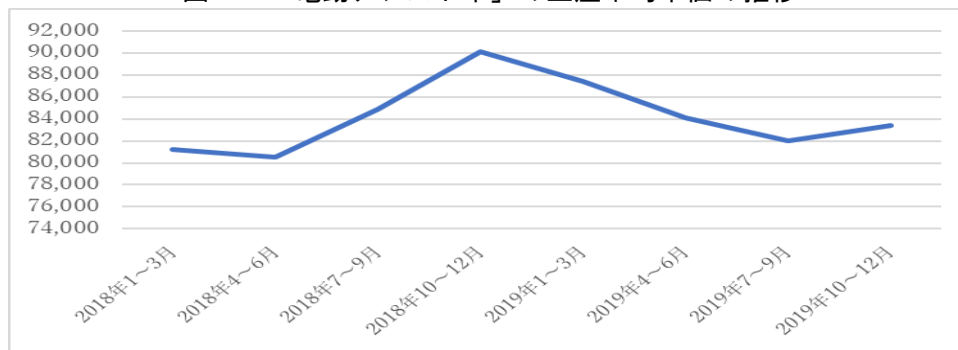
四半期	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月
生産台数(台)	158,472	136,308	122,408	157,552
前年同四半期	2018年1～3月	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月
生産台数(台)	161,463	144,054	116,371	131,437

表1-2-2-2 「電動アシスト車」の生産台数の前年同期比

四半期	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月
実数比(台)	-2,991	-7,746	+6,037	+26,115
前年同期比%	-1.9	-5.4	+5.2	+19.9

続いて「電動アシスト車」の生産平均単価を見る。対象としている2018年1～3月期から2019年10～12月期までの8四半期の生産平均単価の推移を図Cに示す。2018年10～12月期を頂点として下落していたものが2019年10～12月期は若干持ち直していることがわかる。

図C 「電動アシスト車」の生産平均単価の推移



次に「電動アシスト車」の生産平均単価の動向の様態を過去4四半期にまでさかのぼり表1-2-2-3及び表1-2-2-4に示す。2019年10～12月期の「電動アシスト車」の生産平均単価は83,414円となっており、前年同期の90,118円から7.4%下落した事がわかる。対前年同期と比較した生産平均単価は前四半期から下落に転じ、今回は下落幅がさらに拡大した。但し2018年10～12月期の90,118円という生産平均単価は対象8四半期の中で最高であったことも指摘しておきたい。

表1-2-2-3 「電動アシスト車」の生産平均単価の動向

四半期	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月
平均単価(円)	87,450	84,131	82,032	83,414
前年同四半期	2018年1～3月	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月
平均単価(円)	81,200	80,535	84,863	90,118

表1-2-2-4 「電動アシスト車」の生産平均単価の前年同期比

四半期	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月
実数比(円)	+6,249	+3,596	-2,831	-6,705
前年同期比%	+7.7	+4.5	-3.3	-7.4

更に生産金額について見てみると、2019年10～12月の「電動アシスト車」の生産金額は131億1,419万8千円で、前年同期と比較すると11.0%増加した事が示されている。生産台数の場合と同様、2019年10～12月期の生産金額は2018年1～3月期や2019年1～3月期と同水準であり、2018年10～12月期とは異なる水準である。

表1-2-2-5 「電動アシスト車」の生産金額の動向

四半期	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月
生産金額(千円)	13,858,347	11,467,780	10,041,356	13,141,968
前年同四半期	2018年1～3月	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月
生産金額(千円)	13,110,852	11,601,385	9,875,627	11,844,858

表1-2-2-6 「電動アシスト車」の生産金額の前年同期比

四半期	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月
実数比(千円)	+747,495	-133,605	+165,729	+1,297,110
前年同期比%	+5.7	-1.2	+1.7	+11.0

1-2-3 「その他」の生産状況

「その他」の生産状況を以下に示す。まず2019年10～12月期の生産台数は、21,414台で対前年同期比12.8%増加した。2018年10～12月期が比較的低調であったところに加え、今期はかなり好調であったため、このような結果になっている。

表1-2-3-1 「その他」の生産台数の動向

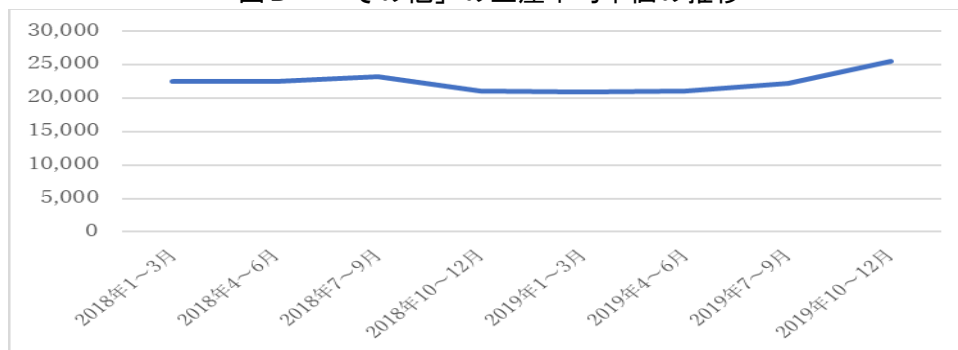
四半期	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月
生産台数(台)	19,167	23,669	18,548	21,414
前年同四半期	2018年1～3月	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月
生産台数(台)	17,340	22,305	19,245	18,991

表1-2-3-2 「その他」の生産台数の前年同期比

四半期	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月
実数比(台)	+1,827	+1,364	-697	+2,423
前年同期比%	+10.5	+6.1	-3.6	+12.8

続いて「その他」の生産平均単価を見る。対象としている2018年1～3月期から2019年10～12月期までの8四半期の生産平均単価の推移を図Dに示す。「軽快車」や「電動アシスト車」に比べ安定しているように見えるが、2019年10～12月期は対象となる8四半期の中で最高を記録している。

図D 「その他」の生産平均単価の推移



次に「その他」の生産平均単価の動向の様相を過去4四半期にまでさかのぼり表1-2-3-3及び表1-2-3-4に示す。2019年10～12月期の「電動アシスト車」の生産平均単価は25,531円となっており、前年同期の21,077円から21.1%も上昇した事がわかる。対前年同期と比較した生産平均単価は小幅な下落が続いていたが、今回は大きく上昇した。

表1-2-3-3 「その他」の生産平均単価の動向

四半期	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月
平均単価(円)	20,943	21,039	22,247	25,531
前年同四半期	2018年1～3月	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月
平均単価(円)	22,471	22,475	23,199	21,077

表1-2-3-4 「その他」の生産平均単価の前年同期比

四半期	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月
実数比(円)	-1,528	-1,436	-952	+4,455
前年同期比%	-6.8	-6.4	-4.1	+21.1

更に生産金額について見てみると、2019年10～12月期の「その他」の生産金額は5億4,672万6千円で、前年同期と比較すると36.6%も増加した事が示されている。これらの事から、2019年10～12月期の「その他」は台数・平均単価・金額とも前年同期を上回ったことになり、台数・平均単価・金額とも前年同期を下回った2019年7～9月期とは対照的な状況となった。

表1-2-3-5 「その他」の生産金額の動向

四半期	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月
生産金額(千円)	401,416	497,983	412,642	546,726
前年同四半期	2018年1～3月	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月
生産金額(千円)	389,652	501,311	446,463	400,265

表1-2-3-6 「その他」の生産金額の前年同期比

四半期	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月
実数比(千円)	+11,764	-3,328	-33,821	+146,461
前年同期比%	+3.0	-0.7	-7.6	+36.6

2. 我が国の自転車輸入

2-1 総合的輸入状況

まず、「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を除く全ての車種の自転車の我が国への輸入台数について示す。2019年10～12月期の総輸入台数は、表2-1-1に示す通り1,392,616台であった。前年同期と比較すると、表2-1-2に示す通り2.4%減少した。前回指摘した通り、冒頭で述べた季節性による変動は、2019年は2018年に比べ緩慢になっているようで、2019年1～3月期のピークは2018年1～3月期に比べ低く、逆にその後の減少過程では2019年は2018年より減少幅が少なくなっているようであるが、7～9月期から10～12月期に向けての増加の勢いが2019年は2018年に比べ弱いようにも見受けられる。また前述したように当協会が実施している自転車国内販売動向調査によると、2019年10月月報及び2019年11月月報には販売店における消費税増税後の販売減少の様相が示されている。消費税増税前の駆け込み需要の反動減という現象があり、輸入状況にはこれが反映されているのかもしれない。

表 2-1-1 我が国自転車総輸入台数の動向

四半期	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月
総輸入台数(台)	1,840,057	1,631,661	1,375,387	1,392,616
前年同四半期	2018年1~3月	2018年4~6月	2018年7~9月	2018年10~12月
総輸入台数(台)	1,941,518	1,537,644	1,276,139	1,426,781

出典：財務省貿易統計 加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会 以下、輸入統計数値は全て同様。

表 2-1-2 我が国自転車総輸入台数の前年同期比

四半期	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月
実数比(台)	-101,461	+94,017	+99,248	-34,165
前年同期比(%)	-5.2	+6.1	+7.8	-2.4

尚、参考までこの間のドル円為替レートを別表1に示しておく。

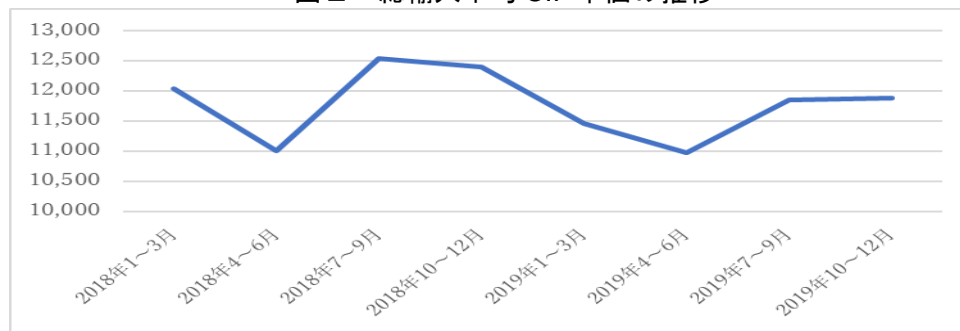
別表1 ドル円為替レート (税関長公示レート)

四半期別	1US\$=JPY
2018年1~3月	109.44
2018年4~6月	108.42
2018年7~9月	111.08
2018年10~12月	113.00
2019年1~3月	110.11
2019年4~6月	110.44
2019年7~9月	107.31
2019年10~12月	108.49

出典：公益財団法人日本関税協会 加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を除く全ての車種の自転車の輸入平均CIF単価を見る。対象としている2018年1~3月期から2019年10~12月期までの8四半期の総輸入平均CIF単価の推移を図Eに示す。4~6月期が低いことは2018年2019年とも共通しているが7~9月期及び10~12月期の戻りが2019年は2018年に比べ弱いことがわかる。

図E 総輸入平均CIF単価の推移



続いて総輸入平均CIF単価の四半期毎の推移を見ると、2019年10~12月期の完成自転車輸入平均CIF単価は11,880円となっており、前年同期の12,400円から4.2%下落した。総輸入平均CIF単価は4四半期連続で前年同期に対して下落している事もわかる。これらの模様を同じく過去4四半期にまでさかのぼり表2-1-3及び表2-1-4に示す。

表 2-1-3 我が国自転車総輸入平均 CIF 単価の動向

四半期	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月
平均 CIF 単価(円)	11,454	10,970	11,849	11,880
前年同四半期	2018年1~3月	2018年4~6月	2018年7~9月	2018年10~12月
平均 CIF 単価(円)	12,029	11,000	12,534	12,400

表 2-1-4 我が国自転車総輸入平均 CIF 単価の前年同期比

四半期	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月
実数比(円)	-575	-30	-685	-520
前年同期比%	-4.8	-0.3	-5.5	-4.2

更に総輸入金額について見てみると、2019年10~12月期の完成自転車総輸入 CIF 金額は165億4,477万9千円となり前年同期比比6.5%減少した。これらの模様を過去4四半期にまでさかのぼり表2-1-5及び表2-1-6に示す。

対前年同期と比較した総台数・総金額は、ともに4~6月期、7~9月期は増加を示したものの10~12月期は減少を示している。台数のところで指摘した通り消費税増税前の駆け込み需要の反動減という現象が起きているのかもしれない。

表 2-1-5 我が国自転車総輸入 CIF 金額の動向

四半期	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月
総輸入 CIF 金額(千円)	21,075,532	17,900,030	16,296,763	16,544,779
前年同四半期	2018年1~3月	2018年4~6月	2018年7~9月	2018年10~12月
総輸入 CIF 金額(千円)	23,354,208	16,914,456	15,994,855	17,692,395

表 2-1-6 我が国自転車総輸入 CIF 金額の前年同期比

四半期	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月
実数比(千円)	-2,278,676	+985,574	+301,908	-1,147,616
前年同期比%	-9.8	+5.8	+1.9	-6.5

2-2 車種別輸入状況

我が国の輸入における関税番号及び車種については次の別表2の通り分類されている。電動アシスト車は独立した輸入関税区分が立てられておらず、モーターサイクルの中に「駆動原動機として電動機を有するもの」が区分されており、電動アシスト車はこの中に含まれているものと思われる。しかしこの区分には、電動オートバイも含まれているので注意が必要である。

別表2 輸入における車種区分 関税番号

関税番号/品名区分	車 種
8712.00100 マウンテンバイク	・ MTB(V ブレーキ・Disk ブレーキ装着車を含む) ・ クロスバイク
8712.00211 ミニサイクル	・ ミニサイクル ・ 小径折りたたみ車 ・ BMX
8712.00218 幼児車	・ 幼児車(12~16吋) ・ 乗用玩具(12吋二輪車) ・ 一輪車(12~16吋)
8712.00219 子供車	・ 子供車(18~24吋) ・ Jr.MTB(18~24吋) ・ 一輪車(18~24吋)

8712.00291 軽快車	<ul style="list-style-type: none"> ・軽快車(外装変速機付は含まない) ・シングル、内装変速機付スポーツ車
8712.00299 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ車 ・外装変速機付軽快車 ・Jr.MTB(26吋)

8711.60000 駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル	・電動オートバイ、電動アシスト自転車がこの区分の中に含まれる
------------------------------------	--------------------------------

出典：一般財団法人自転車産業振興協会

以下に車種別輸入状況を示していくが、車種区分が比較的多いため、この中から増加傾向の見られる「ミニサイクル」、底堅い需要のある「子供車」、重要と思われる「軽快車」及び「その他」、動向が注目される「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」に限って内訳をみてゆく。

2-2-1 「ミニサイクル」の輸入状況

「ミニサイクル」の輸入状況を表2-2-1-1及び表2-2-1-2に示す。2019年10～12月期には輸入台数が前年同期比で12.4%増加したことが示されている。表を横に見るとわかる通り、増加傾向が続いており、シェアサイクル向け自転車やスポーツタイプ及び折り畳み車等の輸入の増加が反映されているものと思われる。

表2-2-1-1 「ミニサイクル」の輸入台数の動向

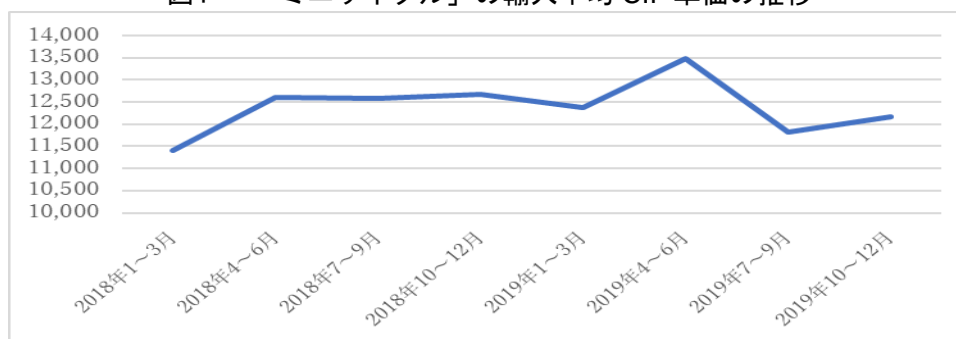
四半期	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月
輸入台数(台)	70,550	76,990	62,279	63,597
前年同四半期	2018年1～3月	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月
輸入台数(台)	69,422	63,802	48,447	56,563

表2-2-1-2 「ミニサイクル」の輸入台数の前年同期比

四半期	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月
実数比(台)	+1,128	+13,188	+13,832	+7,034
前年同期比(%)	+1.6	+20.7	+28.6	+12.4

次に「ミニサイクル」の自転車の輸入平均CIF単価を見る。対象としている2018年1～3月期から2019年10～12月期までの8四半期の輸入平均CIF単価の推移を図Fに示す。2019年4～6月期が突出していたが、2019年7～9月期に大きく下落し2019年10～12月期は若干持ち直した。しかし2018年4～6月期から2019年1～3月期の水準にはまだ達していない。

図F 「ミニサイクル」の輸入平均CIF単価の推移



続いて「ミニサイクル」の輸入平均 CIF 単価の四半期毎の推移を見ると、2019年10～12月期の完成自転車輸入平均 CIF 単価は12,176円となっており、前年同期の12,664円から3.9%下落した。前年同期と比較した平均 CIF 単価は前四半期から下落に転じている事もわかる。これらの模様を同じく過去4四半期にまでさかのぼり表2-2-1-3及び表2-2-1-4に示す。

表2-2-1-3 「ミニサイクル」の輸入平均 CIF 単価の動向

四半期	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月
平均 CIF 単価(円)	12,374	13,471	11,831	12,176
前年同四半期	2018年1～3月	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月
平均 CIF 単価(円)	11,415	12,612	12,591	12,664

表2-2-1-4 「ミニサイクル」の輸入平均 CIF 単価の前年同期比

四半期	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月
実数比(円)	+959	+859	-760	-488
前年同期比%	+8.4	+6.8	-6.0	-3.9

更に輸入金額について見てみると、2019年10～12月期の「ミニサイクル」の輸入 CIF 金額は7億7,432万9千円となり前年同期比8.1%増加した。金額も前年同期との比較では各期とも増加傾向が続いているが、2019年7～9月期同様、2019年10～12月期も台数の増加レベルには達していない。

表2-2-1-5 「ミニサイクル」の輸入 CIF 金額の動向

四半期	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月
輸入 CIF 金額(千円)	872,998	1,037,158	736,818	774,329
前年同四半期	2018年1～3月	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月
輸入 CIF 金額(千円)	792,437	804,663	610,016	716,308

表2-2-1-6 「ミニサイクル」の輸入 CIF 金額の前年同期比

四半期	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月
実数比(千円)	+80,561	+232,495	+126,802	+58,021
前年同期比%	+10.2	+28.9	+20.8	+8.1

2-2-2 「子供車」の輸入状況

「子供車」の輸入状況を以下に示す。2019年10～12月期には、輸入台数が前年同期比8.3%増加したことが示されている。輸入台数は2019年4～6月期から前年同期比増加に転じている。少子化が進む中でも「子供車」は比較的底堅い需要があるように見受けられる。

表2-2-2-1 「子供車」の輸入台数の動向

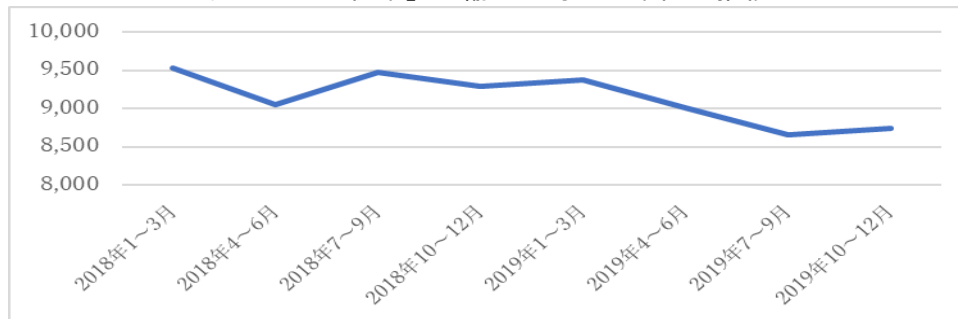
四半期	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月
輸入台数(台)	359,298	449,883	357,722	343,683
前年同四半期	2018年1～3月	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月
輸入台数(台)	362,414	419,781	314,904	317,216

表2-2-2-2 「子供車」の輸入台数の前年同期比

四半期	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月
実数比(台)	-3,116	+30,102	+42,818	+26,467
前年同期比(%)	-0.9	+7.2	+13.6	+8.3

次に「子供車」の輸入平均 CIF 単価を見る。対象としている 2018 年 1～3 月期から 2019 年 10～12 月期までの 8 四半期の輸入平均 CIF 単価の推移を図 G に示す。弱い下落傾向にあるように見受けられる。

図 G 「子供車」の輸入平均 CIF 単価の推移



続いて輸入平均 CIF 単価の四半期毎の推移を見ると、2019 年 10～12 月期の「子供車」の輸入平均 CIF 単価は 8,741 円となっており、前年同期の 9,294 円から 6.0%下落した。平均単価は前年同期比で下落が続いている事がわかる。

表 2-2-2-3 「子供車」の輸入平均 CIF 単価の動向

四半期	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月
平均 CIF 単価(円)	9,370	9,004	8,651	8,741
前年同四半期	2018年1～3月	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月
平均 CIF 単価(円)	9,523	9,046	9,477	9,294

表 2-2-2-4 「子供車」の輸入平均 CIF 単価の前年同期比

四半期	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月
実数比(円)	-153	-42	-826	-554
前年同期比%	-1.6	-0.5	-8.7	-6.0

更に輸入金額について見てみると、2019 年 10～12 月期の「子供車」の輸入 CIF 金額は 30 億 399 万 9 千円となり前年同期比 1.9%増加した。金額は前年同期との比較では 3 四半期連続で増加している。

表 2-2-2-5 「子供車」の輸入 CIF 金額の動向

四半期	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月
輸入 CIF 金額(千円)	3,366,519	4,050,847	3,094,514	3,003,999
前年同四半期	2018年1～3月	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月
輸入 CIF 金額(千円)	3,451,333	3,797,290	2,984,337	2,948,363

表 2-2-2-6 「子供車」の輸入 CIF 金額の前年同期比

四半期	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月
実数比(千円)	-84,814	+253,557	+110,177	+55,636
前年同期比%	-2.5	+6.7	+3.7	+1.9

2-2-3 「軽快車」の輸入状況

「軽快車」の輸入状況を以下に示す。2019 年 10～12 月期には、輸入台数が前年同期比 12.7%減少したことが示されている。前年同期と比較した四半期毎の輸入台数は 2019 年 4～6 月期から 2 期連続で増加を示したが、今回は大きく減少した。前述のとおり消費税増税前の駆け込み需要からの反動減という現象が起きているのかもしれない。

表 2-2-3-1 「軽快車」の輸入台数の動向

四半期	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月
輸入台数(台)	573,283	373,720	339,589	384,076
前年同四半期	2018年1~3月	2018年4~6月	2018年7~9月	2018年10~12月
輸入台数(台)	611,071	372,431	337,447	439,812

表 2-2-3-2 「軽快車」の輸入台数の前年同期比

四半期	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月
実数比(台)	-37,788	+1,289	+2,142	-55,736
前年同期比(%)	-6.2	+0.3	+0.6	-12.7

次に「軽快車」の自転車の輸入平均CIF単価を見る。対象としている2018年1~3月期から2019年10~12月期までの8四半期の輸入平均CIF単価の推移を図Hに示す。生産の場合と同様、季節性が大変強く表れており、秋から冬にかけて比較的高価なものを輸入し、春から夏にかけては比較的安価なものを輸入するという特徴がよくわかる。

図H 「軽快車」の輸入平均CIF単価の推移



続いて輸入平均CIF単価の四半期毎の推移を見ると、2019年10~12月期の「軽快車」の輸入平均CIF単価は10,165円となっており、前年同期の10,119円から0.4%上昇した。2019年1~3月期以降前年同期を3四半期連続で下回っていたものが、僅かではあるが対前年同期比で上昇に転じた。

表 2-2-3-3 「軽快車」の輸入平均CIF単価の動向

四半期	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月
平均CIF単価(円)	9,947	8,793	8,566	10,165
前年同四半期	2018年1~3月	2018年4~6月	2018年7~9月	2018年10~12月
平均CIF単価(円)	10,260	8,844	8,744	10,119

表 2-2-3-4 「軽快車」の輸入平均CIF単価の前年同期比

四半期	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月
実数比(円)	-313	-51	-178	+46
前年同期比%	-3.0	-0.6	-2.0	+0.4

更に輸入金額について見てみると、2019年10~12月期の「軽快車」の輸入CIF金額は39億395万2千円となり前年同期比12.3%減少した。金額は4四半期連続で前年同期比減少している。

表 2-2-3-5 「軽快車」の輸入 CIF 金額の動向

四半期	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月
輸入 CIF 金額(千円)	5,702,659	3,286,185	2,909,085	3,903,952
前年同四半期	2018年1~3月	2018年4~6月	2018年7~9月	2018年10~12月
輸入 CIF 金額(千円)	6,269,696	3,293,710	2,950,654	4,450,461

表 2-2-3-6 「軽快車」の輸入 CIF 金額の前年同期比

四半期	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月
実数比(千円)	-567,037	-7,525	-41,569	-546,509
前年同期比%	-9.0	-0.2	-1.4	-12.3

2-2-4 「その他」の輸入状況

スポーツ車や外装変速機付軽快車が含まれる「その他」の輸入状況を以下に示す。この車種は輸入車種区分の中で最も台数・金額が多い。また2018年、2019年とも1~3月の輸入が際立って多くなっており、通勤・通学を含めた春需を満たすための輸入が盛んにおこなわれていることが窺える。2020年はどうのような状況になるのか、動向を注目してゆきたい。

2019年10~12月期には、輸入台数が前年同期比2.7%増加したことが示されている。輸入台数は3四半期連続で前年同期比増加している。

表 2-2-4-1 「その他」の輸入台数の動向

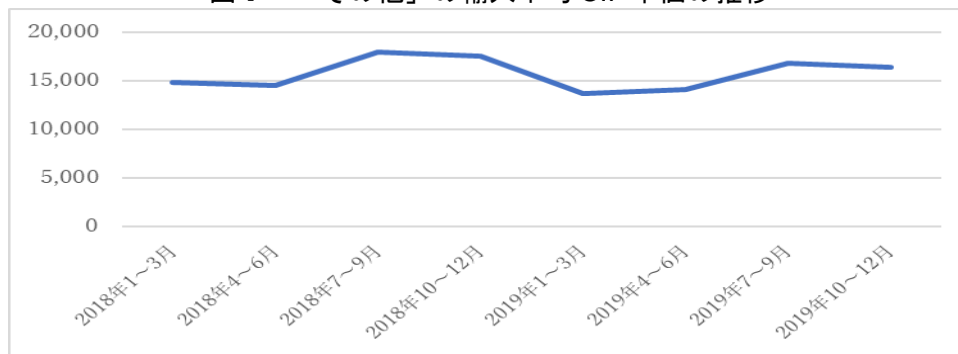
四半期	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月
輸入台数(台)	710,604	562,632	482,381	462,746
前年同四半期	2018年1~3月	2018年4~6月	2018年7~9月	2018年10~12月
輸入台数(台)	752,513	510,554	442,353	450,740

表 2-2-4-2 「その他」の輸入台数の前年同期比

四半期	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月
実数比(台)	-41,909	+52,078	+40,028	+12,006
前年同期比(%)	-5.6	+10.2	+9.0	+2.7

次に「その他」の自転車の輸入平均 CIF 単価を見る。対象としている2018年1~3月期から2019年10~12月期までの8四半期の輸入平均 CIF 単価の推移を図 I に示す。「軽快車」ほどではないものの、季節性が表れており、秋から冬にかけて比較的高価なものを輸入し、春から夏にかけては比較的安価なものを輸入するという特徴がわかる。

図 I 「その他」の輸入平均 CIF 単価の推移



続いて輸入平均 CIF 単価の四半期毎の推移を見ると、2019年10~12月期の「その他」の輸入平均 CIF 単価は16,399円となっており、前年同期の17,520円から6.4%下落した。輸入平均 CIF 単価は4四半期連続で前年同期比下落を示している。

表 2-2-4-3 「その他」の輸入平均 CIF 単価の動向

四半期	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月
平均 CIF 単価(円)	13,702	14,089	16,831	16,399
前年同四半期	2018年1~3月	2018年4~6月	2018年7~9月	2018年10~12月
平均 CIF 単価(円)	14,867	14,503	17,947	17,520

表 2-2-4-4 「その他」の輸入平均 CIF 単価の前年同期比

四半期	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月
実数比(円)	-1,165	-414	-1,116	-1,121
前年同期比%	-7.8	-2.9	-6.2	-6.4

更に輸入金額について見てみると、2019年10~12月期の「その他」の輸入 CIF 金額は75億8,841万5千円となり前年同期比3.9%減少した。2019年4~6月期、2019年7~9月期と前年同期比増加を示していたが、今期は再び減少に転じた。

表 2-2-4-5 「その他」の輸入 CIF 金額の動向

四半期	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月
輸入 CIF 金額(千円)	9,736,863	7,926,923	8,118,954	7,588,415
前年同四半期	2018年1~3月	2018年4~6月	2018年7~9月	2018年10~12月
輸入 CIF 金額(千円)	11,187,614	7,404,455	7,938,859	7,896,840

表 2-2-4-6 「その他」の輸入 CIF 金額の前年同期比

四半期	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月
実数比(千円)	-1,450,751	+522,468	+180,095	-308,425
前年同期比%	-13.0	+7.1	+2.3	-3.9

2-2-5 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入状況

最後に参考まで「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入状況を示す。2019年10~12月期には、輸入台数が前年同期比34.6%増加したことが示されている。輸入台数は継続的な増加が示されており、好調であると言ってよい状況である。また「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」は冒頭で述べた季節性はみられないことも注目される。

表 2-2-5-1 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入台数の動向

四半期	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月
輸入台数(台)	83,382	84,074	98,639	117,500
前年同四半期	2018年1~3月	2018年4~6月	2018年7~9月	2018年10~12月
輸入台数(台)	68,868	77,992	87,386	87,312

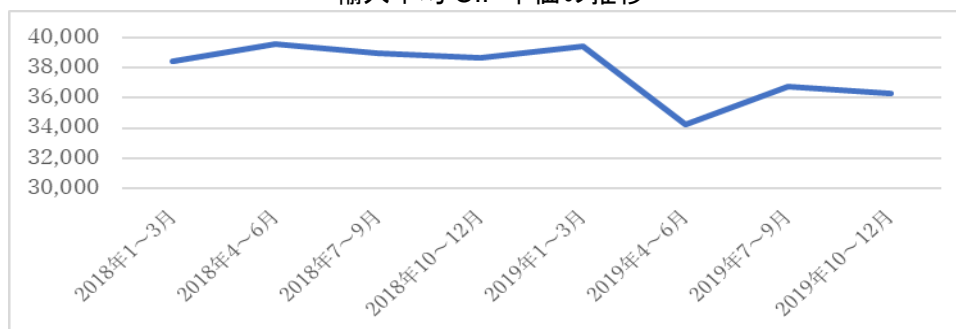
表 2-2-5-2 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入台数の前年同期比

四半期	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月
実数比(台)	+14,514	+6,082	+11,253	+30,188
前年同期比(%)	+21.1	+7.8	+12.9	+34.6

次に「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入平均 CIF 単価を見る。対象としている2018年1~3月期から2019年10~12月期までの8四半期の輸入平均 CIF

単価の推移を図Jに示す。2019年4～6月期に大きく下落し、その後の回復の程度は限定的である。

図J 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の
輸入平均CIF単価の推移



続いて輸入平均CIF単価の四半期毎の推移を見ると、2019年10～12月期の「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入平均CIF単価は36,280円となっており、前年同期の38,689円から6.2%下落した。輸入平均CIF単価は3四半期連続で前年同期比下落を示している。輸入が増え、普及が進み、価格低落化が起き始めているのかもしれない。

表2-2-5-3 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の
輸入平均CIF単価の動向

四半期	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月
平均CIF単価(円)	39,397	34,283	36,743	36,280
前年同四半期	2018年1～3月	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月
平均CIF単価(円)	38,404	39,598	38,932	38,689

表2-2-5-4 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の
輸入平均CIF単価の前年同期比

四半期	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月
実数比(円)	+993	-5,314	-2,189	-2,408
前年同期比%	+2.6	-13.4	-5.6	-6.2

更に輸入金額について見てみると、2019年10～12月期の「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入CIF金額は42億6,294万5千円となり前年同期比26.2%増加した。但し、台数が34.6%増加したのに比べると金額の増加はこれを下回っている。また2019年4～6月期を除き前年同期比増加しているが、その変動幅は非常に大きくなっている。

表2-2-5-5 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の
輸入CIF金額の動向

四半期	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月
輸入CIF金額(千円)	3,284,995	2,882,319	3,624,289	4,262,945
前年同四半期	2018年1～3月	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月
輸入CIF金額(千円)	2,644,791	3,088,293	3,402,070	3,377,980

表 2-2-5-6 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の
輸入 CIF 金額の前年同期比

四半期	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月
実数比(千円)	+640,204	-205,974	+222,219	+884,965
前年同期比%	+24.2	-6.7	+6.5	+26.2

3. 国内向け数量

我が国の完成自転車輸出はその殆ど全てが中古車の途上国向け輸出であるため、「生産台数」と「輸入台数」の合計が「国内向け数量」と考えられる。「国内向け数量」の前年同期比を見ると2019年4~6月期2019年7~9月期は増加したものの、今期は僅かながら減少に転じている。

表 3-1 「国内向け数量」の動向

四半期	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月
国内向け数量(台)	2,096,321	1,827,628	1,554,337	1,646,525
前年同四半期	2018年1~3月	2018年4~6月	2018年7~9月	2018年10~12月
国内向け数量(台)	2,199,344	1,743,431	1,447,238	1,653,324

出典：経済産業省生産動態統計調査（2018年の数値は改定値）、
財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
（生産には「電動アシスト車」を含み、輸入には「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない）
表 3-2 も同様

表 3-2 「国内向け数量」の前年同期比

四半期	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月
実数比(台)	-103,023	+84,197	+107,099	-6,799
前年同期比(%)	-4.7	+4.8	+7.4	-0.4

4. 我が国の自転車輸出

我が国の自転車輸出は途上国向けの中古自転車が多である。

2019年10~12月期の総輸出台数は866,289台となり前年同期から3.8%増加した。これらの模様を過去4四半期にまでさかのぼり表4-1及び表4-2に示す。

表 4-1 我が国自転車総輸出台数の動向

四半期	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月
総輸出台数(台)	729,774	808,971	704,895	866,289
前年同四半期	2018年1~3月	2018年4~6月	2018年7~9月	2018年10~12月
総輸出台数(台)	709,484	825,157	699,411	834,374

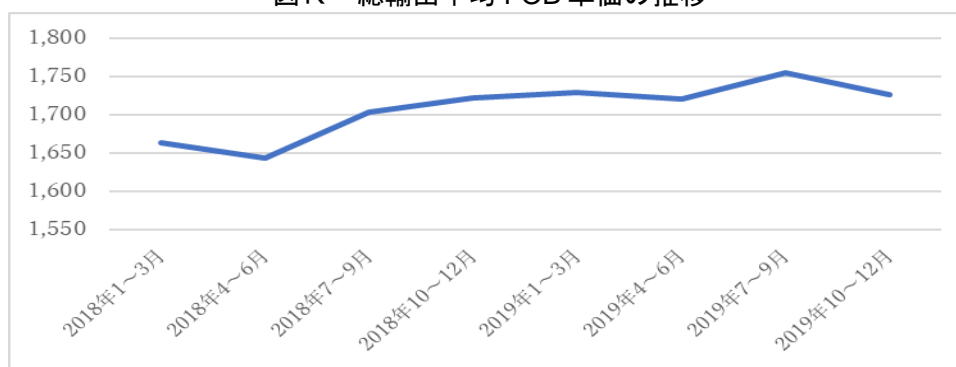
出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会 以下、輸出統計数値は全て同様。

表 4-2 我が国自転車総輸出台数の前年同期比

四半期	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月
実数比(台)	+20,290	-16,186	+5,484	+31,915
前年同期比(%)	+2.9	-2.0	+0.8	+3.8

次に全ての車種の輸出平均 FOB 単価を見る。対象としている2018年1~3月期から2019年10~12月期までの8四半期の総輸出平均 FOB 単価の推移を図Kに示す。2019年10~12月期は下落したものの、全体的には上昇傾向にあるように見受けられる。

図K 総輸出平均 FOB 単価の推移



続いて輸出平均 FOB 単価を見ると、2019 年 10~12 月期の完成自転車総輸出平均 FOB 単価は 1,727 円となっており、前年同期の 1,722 円から 0.3%上昇した。これらの模様を同じく過去 4 四半期にまでさかのぼり表 4-3 及び表 4-4 に示す。前年同期と比較した四半期毎総輸出平均 FOB 単価は 4 四半期連続で上昇した。また、平均 FOB 単価を見ればこれらの自転車輸出は中古自転車輸出である事は明らかである。

表 4-3 我が国自転車総輸出平均 FOB 単価の動向

四半期	2019 年 1~3 月	2019 年 4~6 月	2019 年 7~9 月	2019 年 10~12 月
平均 FOB 単価(円)	1,729	1,720	1,755	1,727
前年同四半期	2018 年 1~3 月	2018 年 4~6 月	2018 年 7~9 月	2018 年 10~12 月
平均 FOB 単価(円)	1,664	1,644	1,703	1,722

表 4-4 我が国自転車総輸出平均 FOB 単価の前年同期比

四半期	2019 年 1~3 月	2019 年 4~6 月	2019 年 7~9 月	2019 年 10~12 月
実数比(円)	+65	+77	+52	+6
前年同期比%	+3.9	+4.7	+3.0	+0.3

更に総輸出金額について見てみると、2019 年 10~12 月期の完成自転車総輸出 FOB 金額は 14 億 9,645 万 5 千円となり前年同期比 4.2%増加した。これらの模様をやはり過去 4 四半期にまでさかのぼり表 4-5 及び表 4-6 に示す。金額も増加傾向が続いている。

4-5 我が国自転車総輸出 FOB 金額の動向

四半期	2019 年 1~3 月	2019 年 4~6 月	2019 年 7~9 月	2019 年 10~12 月
総輸出 FOB 金額(千円)	1,262,032	1,391,595	1,236,890	1,496,455
前年同四半期	2018 年 1~3 月	2018 年 4~6 月	2018 年 7~9 月	2018 年 10~12 月
総輸出 FOB 金額(千円)	1,180,597	1,356,227	1,191,129	1,436,424

表 4-6 我が国自転車総輸出 FOB 金額の前年同期比

四半期	2019 年 1~3 月	2019 年 4~6 月	2019 年 7~9 月	2019 年 10~12 月
実数比(千円)	+81,435	+35,368	+45,761	+60,031
前年同期比%	+6.9	+2.6	+3.8	+4.2

尚、輸出に関する分析では「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」は対象から除外している。

以上